

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

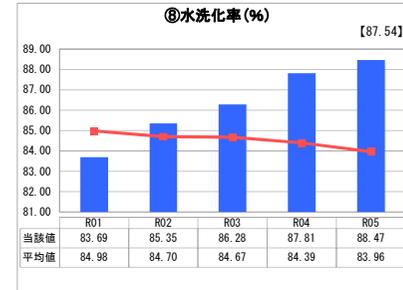
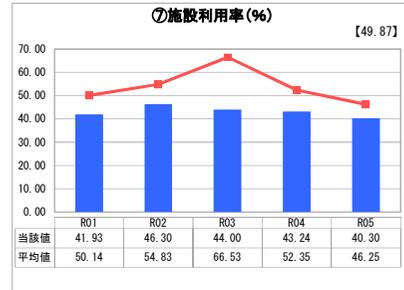
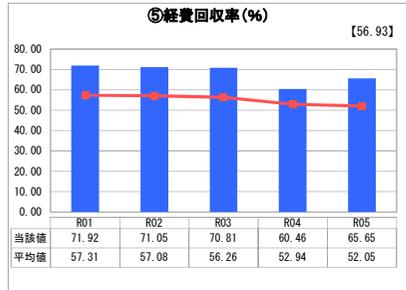
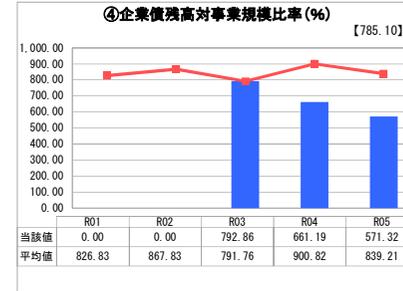
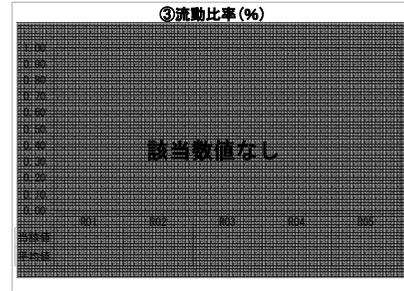
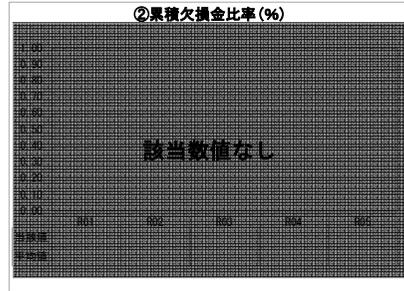
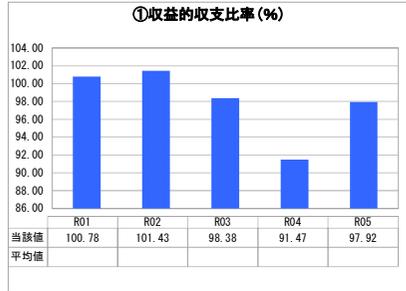
宮城県 小林区

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	10.77	103.07	2,882

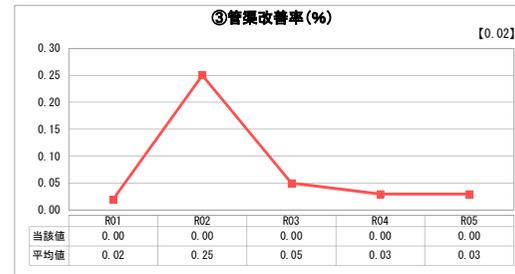
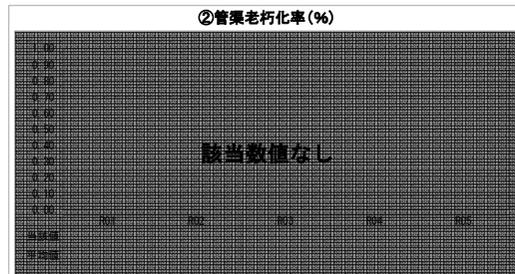
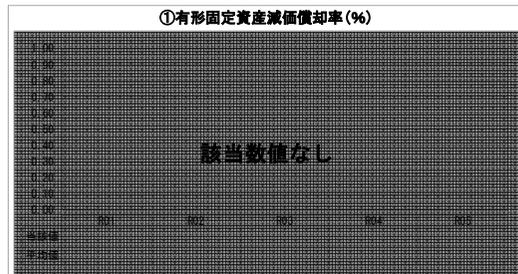
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
42,944	562.95	76.28
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
4,554	5.88	774.49

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を下回っており、料金収入の確保、経費節減が必要です。  
 ②累積欠損金比率は、該当数値なしです。  
 ③流動比率は、該当数値なしです。  
 ④企業債残高対事業規模比率については、一般会計からの繰入金で賄っていますが、今後、更なる経営改善を図ることが求められます。  
 ⑤経費回収率は、類似団体及び全国平均を上回っている状況がありますが、100%を大きく下回り一般会計からの繰入金で賄われている割合が依然として高いこと等を踏まえ、今後も料金収入の確保、経費節減が必要です。  
 ⑥汚水処理原価は、類似団体及び全国平均と比較して低く推移していますが、経費回収率は100%を下回っているため今後も経費節減が必要です。  
 ⑦施設利用率は、類似団体及び全国平均と比較して低く、50%以下となっており、効率的に利用されているとは言えません。将来の汚水処理人口の減少等を踏まえ近隣施設との統廃合等により適切な施設規模を維持する必要があります。  
 ⑧水洗化率は、徐々に増加傾向がみられ水洗化普及対策が順調であることを示しています。今後とも水洗化普及に向けた取り組みをさらに高めることが必要です。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ大規模な更新工事の必要性はありませんが、機械及び装置や電気設備について適宜更新や修繕を行っています。単年度に修繕等が集中することのないように、計画的な維持管理を継続していくことが必要です。

### 全体総括

施設については、改築等の必要性は今のところありませんが、今後年数を経るにつれて起こりうる大規模な更新工事に向けた対策を講じる必要があります。経営状況は比較的安定した状態で推移していますが、一般会計からの繰り入れに依存している割合が高いため、料金収入確保のための稼働率向上や経費削減が求められます。また、経営戦略を踏まえ改善を図りながら、経営の健全化に取り組んでいきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。